2026年11月16日

各　位

会 社 名　株式会社ヒューマンアジャスト
代表者名　代表取締役社長　根岸　靖
（コード：249A　TOKYO PRO Market、Fukuoka PRO Market）
問合せ先　取締役管理部長　眞木　裕
（電話番号：03-6258-1291）
URL　https://human-adjust.co.jp

2027年３月期の通期連結業績予想について

2027年３月期（2026年４月１日から2027年３月31日まで）の当社の通期連結業績予想は、下記のとおりであります。

また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

記

通期業績予想（連結）

（単位：百万円、％）

決算期 / 項目	2027年３月期通期（予想）			2027年３月期中間期（実績）		2026年３月期通期（実績）	
		対売上高比率	対前期増減率		対売上高比率		対売上高比率
売上高	3,510	100.0	17.8	1,709	100.0	2,980	100.0
営業利益	205	5.8	15.1	76	4.5	178	6.0
経常利益	200	5.7	12.7	73	4.3	177	6.0
親会社株主に帰属する当期（中間）純利益	130	3.7	4.3	59	3.5	124	4.2
１株当たり当期（中間）純利益	84.30円			39.43円		83.09円	
１株当たり配当金	0.00円			0.00円		0.00円	

（注）１．当社は、2026年９月３日付で、普通株式１株につき５株の割合で株式分割を行っております。そのため、2026年３月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、１株当たり当期（中間）純利益を算定しております。

２．１株当たり当期（中間）純利益は、期中平均発行済株式数（2027年３月期については予定）により算出しております。

【2027年３月期連結業績予想の前提条件】

（１）当社全体の見通し

当社グループは、当社（株式会社ヒューマンアジャスト）及び子会社２社（株式会社全国治療家アシスト協会及び株式会社治療家コネクト）により構成されており、「鍼灸接骨院運営事業」及び「店舗運営等支援事業」を主たる事業としております。

当社グループでは、中核事業である「鍼灸接骨院運営事業」のほか、その店舗運営のノウハウを生かした同業他社への支援サービスを「店舗運営等支援事業」として展開しております。

鍼灸接骨院運営事業では、関東エリアを中心に、関西、九州エリアにて鍼灸接骨院を運営しております。また、ＥＣサイトを運営しており、当社の店舗のお客様向けに医薬部外品やサプリメント等の健康食品、家庭向け美容・健康増進器具などの販売を行っております。

店舗運営等支援事業では、鍼灸接骨院のコンサルティングや、療養費の請求代行機関の紹介をはじめとする店舗支援事業を展開しております。また、柔道整復師、はり師、きゅう師等の国家資格保有者に特化した人材紹介事業を展開しております。

2027年３月期の通期連結業績予想につきましては、新店舗の出店等による事業拡大により、売上高3,510百万円（前期比17.8％増）、営業利益205百万円（前期比15.1％増）、経常利益200百万円（前期比12.7％増）、親会社株主に帰属する当期純利益130百万円（前期比4.3％増）を見込んでおります。

（２）業績予想の前提条件

①売上高

鍼灸接骨院運営事業については、純患数・来院頻度・客単価・継続率（リピート率）等の個別ＫＰＩに基づく積み上げをベースに、新店舗の出店、人員体制、療養費改定の影響等を加味して算出しております。当期中の新規出店のほか、前期中に出店した店舗の売上高が通年で寄与することから、売上高の増加を見込んでおります。

店舗運営等支援事業については、営業体制や過去の実績に基づく予測のもと算出しております。当期においては、人材紹介事業において営業体制の強化により売上高の増加を見込んでいるほか、店舗支援事業においては安定した顧客数や療養費請求額に基づき堅調な売上高を見込んでおります。

また、中間期の実績や足元の状況を含め概ね予想どおり進捗しており、今後も同様に進捗するものと想定しております。

これらにより、通期の売上高は、3,510百万円（前期比17.8％増）を見込んでおります。

②営業費用、営業利益

営業費用（売上原価、販売費及び一般管理費）は、鍼灸接骨院における施術者の採用教育費や出店に伴う店舗賃借料等の増加を反映するほか、一般管理費等の固定費については、必要な経費の個別積み上げ方式を採用し、人件費は人員配置計画及び社内評価制度による昇給等の見込みを加味して計上しております。

当期においては、新卒・中途採用のコスト、新店出店のコストのほか、ガバナンス体制の更なる強化のための人件費及び支払手数料等の増加を織り込んで算出しております。

また、中間期の実績や足元の状況を含め、営業利益は概ね予想どおり進捗しております。

これらにより、通期の営業利益は、205百万円（前期比15.1％増）を見込んでおります。

③営業外損益、経常利益

営業外損益については、借入金の支払利息を返済予定や金利情勢から合理的に算出するほか、その他の営業外収益・費用については、個別に発生見込を検討して算出しております。

当期の営業外収益においては申請済みの補助金収入を、営業外費用においては借入金の支払利息のほか上場関連費用等の発生を織り込んでおります。

これらにより、通期の経常利益は、200百万円（前期比12.7%増）を見込んでおります。

④特別損益、親会社株主に帰属する当期純利益

特別損益は見込んでおりません。法人税等については、予想課税所得を基に見積実効税率により税額を算出するほか、繰延税金資産の回収可能性を合理的に見積もり法人税等調整額を算出し、反映しております。

これらの結果、親会社株主に帰属する当期純利益は130百万円（前期比4.3%増）を見込んでおります。

（注）上記予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以　上

2026年3月期　決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月14日
2026年11月6日訂正

上場会社名	株式会社ヒューマンアジャスト	上場取引所	東　福
コード番号	249A	ＵＲＬ	https://human-adjust.co.jp
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名)	根岸　靖
問合せ先責任者	(役職名) 取締役管理部長	(氏名)	眞木　裕　TEL (03)6258-1291
定時株主総会開催予定日	2026年6月25日	配当支払開始予定日	―
発行者情報提出予定日	2026年6月29日		

決算補足説明資料作成の有無　：無
決算説明会開催の有無　：無

(百万円未満切捨て)

1．2026年3月期の連結業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	2,980	16.5	178	△31.9	177	△26.9	124	△16.7
2025年3月期	2,558	31.0	261	308.8	242	332.3	149	437.4

(注) 包括利益　2026年3月期　124百万円(△16.7%)　2025年3月期　149百万円(437.4%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	415.45	―	44.5	14.0	6.0
2025年3月期	498.77	―	104.9	23.2	10.2

(参考) 持分法投資損益　2026年3月期　― 百万円　2025年3月期　― 百万円

(注) 1．2024年6月25日付で普通株式1株につき5,000株の株式分割を行っております。そのため、2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。
2．潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	1,316	342	26.0	1,140.44
2025年3月期	1,212	217	17.9	725.00

(参考) 自己資本　2026年3月期　342百万円　2025年3月期　217百万円

(注) 2024年6月25日付で普通株式1株につき5,000株の株式分割を行っております。そのため、2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	44	△122	△83	246
2025年3月期	194	△92	46	407

2．配当の状況

	年間配当金			配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	中間期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	0.00	0.00	0.00	―	―	―
2026年3月期	0.00	0.00	0.00	―	―	―
2027年3月期(予想)	―	―	―		―	

(注) 2027年3月期の配当金は未定であります。

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売 上 高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	3,510	17.8	205	15.1	200	12.7	130	4.3	430.33

※ 注記事項

（１）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ：無
② ①以外の会計方針の変更 ：無
③ 会計上の見積りの変更 ：無
④ 修正再表示 ：無

（３）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年３月期	300,000株	2025年３月期	300,000株
② 期末自己株式数	2026年３月期	―	2025年３月期	―
③ 期中平均株式数	2026年３月期	300,000株	2025年３月期	300,000株

（注）2024年６月25日付で普通株式１株につき5,000株の株式分割を行っております。そのため、2025年３月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 2
（１）当期の経営成績等の概況 2
（２）当期の財政状態の概況 2
（３）当期のキャッシュ・フローの概況 3
（４）今後の見通し 3
２．会計基準の選択に関する基本的な考え方 3
３．連結財務諸表及び主な注記 4
（１）連結貸借対照表 4
（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書 6
（３）連結株主資本等変動計算書 7
（４）連結キャッシュ・フロー計算書 8
（５）連結財務諸表に関する注記事項 10
（継続企業の前提に関する注記） 10
（セグメント情報等の注記） 10
（１株当たり情報の注記） 12
（重要な後発事象の注記） 12

１．経営成績等の概況

（１）当期の経営成績等の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の継続的な拡大を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、円安に伴うエネルギー価格の高騰や原材料費の上昇による物価高、およびそれに伴う実質賃金の伸び悩み等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する柔道整復・鍼灸・あん摩マッサージ指圧業界においては、人流の回復とともに来院者数の改善傾向が定着いたしました。また、高齢化の進行に伴い、国民の健康意識は従来の「治療」から「予防・機能維持」へと大きくシフトしております。特に、高齢者層を中心に介護予防や生活機能の維持・改善を目的とした施術に対するニーズは益々拡大しており、ヘルスケア関連分野の成長が注目されております。

このような状況のもと、当社グループでは、鍼灸接骨院運営事業において、将来の持続的な成長を確実なものとするため、人的資本への積極的な投資と事業基盤の拡充を最優先課題として取り組んでまいりました。有資格者の積極的な採用を推進することで安定的な店舗運営体制を構築するとともに、次年度以降の店舗展開を見据えた新規出店を加速させてまいりました。あわせて、健康維持・予防のニーズに対応した自費施術のラインナップ拡充や、セルフケアを目的とした物販の強化に注力した結果、客単価の向上と顧客満足度の最大化が進んでおります。

店舗運営等支援事業におきましては、療養費請求代行紹介事業においてシステムの利便性向上等を通じて会員数の増加および療養費請求額の拡大に努めた結果、売上は堅調に推移いたしました。加えて、人材紹介事業においては、深刻な施術者不足を背景とした市場の拡大に対応し、企業と求職者の双方にとって付加価値の高いマッチングサービスの強化を推進いたしました。

これらの結果、売上高は2,980,109千円（前年度同期比16.5％増）、営業利益は178,157千円（前年度同期比31.9％減）、経常利益は177,435千円（前年度同期比26.9％減）、親会社株主に帰属する当期純利益は124,633千円（前年度同期比16.7％減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（鍼灸接骨院運営事業）

売上高は2,946,648千円（前年度同期比16.4％増）、セグメント利益は168,559千円（前年度同期比33.9％減）となりました。

（店舗運営等支援事業）

売上高は33,460千円（前年度同期比23.3％増）、セグメント利益は9,598千円（前年度同期比51.2％増）となりました。

（２）当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産につきましては1,316,743千円（前連結会計年度末1,212,295千円）と、104,447千円増加いたしました。主な要因は次のとおりであります。

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は871,454千円で、前連結会計年度末に比べ39,064千円増加しております。これは、現金及び預金の減少137,344千円、売掛金の増加167,581千円等が主な変動要因であります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産の残高は445,289千円で、前連結会計年度末に比べ65,382千円増加しております。これは、建物及び構築物の増加35,491千円、敷金及び保証金の増加26,186千円等が主な変動要因であります。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は658,484千円で、前連結会計年度末に比べ31,749千円増加しております。これは、未払法人税等の減少57,493千円、未払金の増加30,524千円、前受金の増加54,108千円等が主な変動要因であります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債の残高は316,125千円で、前連結会計年度末に比べ51,935千円減少しておりま

す。これは、長期借入金の減少54,532千円等が主な変動要因であります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は342,132千円で、前連結会計年度末に比べ124,633千円増加しております。これは、親会社株主に帰属する当期純利益124,633千円を計上したことによるものであります。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は246,175千円（前連結会計年度末比160,849千円減少）となりました。各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、44,949千円の収入（前連結会計年度は194,634千円の収入）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益167,925千円、減価償却費の計上56,060千円、前受金の増加額54,108千円等であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加額167,581千円、法人税の支払額109,144千円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、122,721千円の支出（前連結会計年度は92,301千円の支出）となりました。支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出74,224千円、敷金及び保証金の差入による支出26,618千円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、83,077千円の支出（前連結会計年度は46,479千円の収入）となりました。収入は、長期借入れによる収入50,000千円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出106,087千円等であります。

（4）今後の見通し

2027年3月期業績予想につきましては、売上高3,510,000千円（前年度同期比17.8%増）、営業利益205,000千円（前年度同期比15.1%増）、経常利益200,000千円（前年度同期比12.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益130.000千円（前年度同期比3.6%増）を見込んでおります。

2．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、現在、日本国内において事業を展開していること等から、当面は日本基準に基づいて財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準（ＩＦＲＳ）の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向等を踏まえた上で検討を進めていく方針であります。

３．連結財務諸表及び主な注記

（１）連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	427,024	289,679
売掛金	362,948	530,530
商品	1,650	5,298
貯蔵品	1,148	1,585
前払費用	37,346	42,923
未収入金	2,878	1,791
その他	1,591	2,793
貸倒引当金	△2,200	△3,150
流動資産合計	832,389	871,454
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	191,632	227,123
機械装置及び運搬具（純額）	2,445	0
工具、器具及び備品（純額）	17,205	29,406
土地	744	744
リース資産（純額）	24,662	19,567
建設仮勘定	－	211
有形固定資産合計	236,689	277,053
無形固定資産		
ソフトウエア	6,752	2,952
のれん	14,122	8,007
無形固定資産合計	20,875	10,959
投資その他の資産		
敷金及び保証金	61,999	88,186
長期前払費用	4,698	5,875
繰延税金資産	6,427	14,786
その他	49,215	48,426
投資その他の資産合計	122,341	157,276
固定資産合計	379,906	445,289
資産合計	1,212,295	1,316,743

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,521	6,523
短期借入金	131,284	120,000
1年内返済予定の長期借入金	91,916	90,394
リース債務	15,015	10,409
未払法人税等	71,848	14,355
未払消費税等	41,837	39,979
未払金	63,952	94,477
未払費用	81,585	97,788
前受金	73,095	127,203
賞与引当金	34,375	42,423
ポイント引当金	1,137	843
その他	14,166	14,087
流動負債合計	626,734	658,484
固定負債		
長期借入金	246,149	191,617
リース債務	13,485	9,216
資産除去債務	103,011	113,945
その他	5,416	1,346
固定負債合計	368,061	316,125
負債合計	994,796	974,610
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000	3,000
利益剰余金	214,499	339,132
株主資本合計	217,499	342,132
純資産合計	217,499	342,132
負債純資産合計	1,212,295	1,316,743

（2）連結損益計算書及び連結包括利益計算書

（連結損益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　2024年4月1日 至　2025年3月31日）	当連結会計年度 （自　2025年4月1日 至　2026年3月31日）
売上高	2,558,214	2,980,109
売上原価	1,667,957	1,947,733
売上総利益	890,256	1,032,376
販売費及び一般管理費	628,787	854,218
営業利益	261,469	178,157
営業外収益		
受取利息及び配当金	162	607
補助金収入	641	7,096
償却債権取立益	500	－
祝金受取額	700	－
その他	1,009	378
営業外収益合計	3,012	8,081
営業外費用		
支払利息	19,231	8,152
その他	2,454	651
営業外費用合計	21,685	8,804
経常利益	242,796	177,435
特別利益		
固定資産売却益	－	203
固定資産受贈益	5,557	－
特別利益合計	5,557	203
特別損失		
上場関連費用	31,472	－
固定資産除売却損	－	0
減損損失	6,025	9,427
事業譲渡損	－	285
特別損失合計	37,497	9,713
税金等調整前当期純利益	210,856	167,925
法人税、住民税及び事業税	72,293	51,651
法人税等調整額	△11,066	△8,359
法人税合計	61,226	43,291
当期純利益	149,630	124,633
親会社株主に帰属する当期純利益	149,630	124,633

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	149,630	124,633
包括利益	149,630	124,633
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	149,630	124,633

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自　2024年4月1日　至　2025年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本			純資産合計
	資本金	利益剰余金	株主資本合計	
当期首残高	3,000	64,868	67,868	67,868
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益		149,630	149,630	149,630
当期変動額合計	－	149,630	149,630	149,630
当期末残高	3,000	214,499	217,499	217,499

当連結会計年度（自　2025年4月1日　至　2026年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本			純資産合計
	資本金	利益剰余金	株主資本合計	
当期首残高	3,000	214,499	217,499	217,499
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益		124,633	124,633	124,633
当期変動額合計	－	124,633	124,633	124,633
当期末残高	3,000	339,132	342,132	342,132

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　2024年4月1日 至　2025年3月31日）	当連結会計年度 （自　2025年4月1日 至　2026年3月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	210,856	167,925
減価償却費	57,308	56,060
のれん償却額	6,065	6,065
貸倒引当金の増減額（△は減少）	700	950
賞与引当金の増減額（△は減少）	8,014	8,048
ポイント引当金の増減額（△は減少）	△3,460	△293
受取利息及び受取配当金	△162	△607
支払利息	19,231	8,152
固定資産売却益	－	△203
固定資産受贈益	△5,557	－
固定資産除売却損	－	0
補助金収入	△641	△7,096
減損損失	6,025	9,427
事業譲渡損	－	285
売上債権の増減額（△は増加）	△116,797	△167,581
棚卸資産の増減額（△は増加）	982	△4,086
仕入債務の増減額（△は減少）	4,057	2
前受金の増減額（△は減少）	20,852	54,108
その他資産の増減額（△は増加）	△3,901	△10,256
その他負債の増減額（△は減少）	13,436	32,676
小計	217,009	153,577
利息及び配当金の受取額	162	602
利息の支払額	△18,415	△7,183
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△4,763	△109,144
補助金の受取額	641	7,096
営業活動によるキャッシュ・フロー	194,634	44,949
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△28,900	△9,600
定期預金の払戻による収入	20,000	－
有形固定資産の取得による支出	△59,875	△74,224
有形固定資産の売却による収入	－	1,780
無形固定資産の取得による支出	△526	－
敷金及び保証金の差入による支出	△8,789	△26,618
敷金及び保証金の回収による収入	－	383
保険積立金の積立による支出	△14,209	△14,440
投資活動によるキャッシュ・フロー	△92,301	△122,721

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　2024年4月1日 至　2025年3月31日）	当連結会計年度 （自　2025年4月1日 至　2026年3月31日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額（△は減少）	31,784	△11,284
長期借入れによる収入	119,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△86,823	△106,087
リース債務の返済による支出	△17,482	△15,706
財務活動によるキャッシュ・フロー	46,479	△83,077
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	148,811	△160,849
現金及び現金同等物の期首残高	258,212	407,024
現金及び現金同等物の期末残高	407,024	246,175

（5）連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

1．報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、「鍼灸接骨院運営事業」、「店舗運営等支援事業」の 2 つを報告セグメントとしております。各報告セグメントの主要な事業内容は以下のとおりです。

報告セグメント名称	事業内容
鍼灸接骨院運営事業	鍼灸接骨院の運営、健康食品や家庭向け美容・健康増進器具等の販売
店舗運営等支援事業	当社グループのノウハウを活用した店舗支援事業、国家資格者の人材紹介事業

2．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

３．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自　2024年4月1日　至　2025年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント		計	調整額（注）１	連結財務諸表計上額(注)２
	鍼灸接骨院運営事業	店舗運営等支援事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,531,087	27,127	2,558,214	－	2,558,214
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	11,670	11,670	△11,670	－
計	2,531,087	38,797	2,569,884	△11,670	2,558,214
セグメント利益	255,121	6,347	261,469	－	261,469
セグメント資産	1,180,604	32,241	1,212,845	△550	1,212,295
その他の項目					
減価償却費	57,308	－	57,308	－	57,308
のれんの償却額	6,065	－	6,065	－	6,065
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	87,662	－	87,662	－	87,662

（注）１．セグメント利益の調整額及びセグメント資産の調整額は、セグメント間取引消去であります。

２．セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と一致しております。

当連結会計年度（自　2025年4月1日　至　2026年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント		計	調整額（注）１	連結財務諸表計上額(注)２
	鍼灸接骨院運営事業	店舗運営等支援事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,946,648	33,460	2,980,109	－	2,980,109
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	18,800	18,800	△18,800	－
計	2,946,648	52,260	2,998,909	△18,800	2,980,109
セグメント利益	168,559	9,598	178,157	－	178,157
セグメント資産	1,279,047	38,767	1,317,815	△1,072	1,316,743
その他の項目					
減価償却費	56,060	－	56,060	－	56,060
のれんの償却額	6,065	－	6,065	－	6,065
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	102,956	－	102,956	－	102,956

（注）１．セグメント利益の調整額及びセグメント資産の調整額は、セグメント間取引消去であります。

２．セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と一致しております。

（１株当たり情報の注記）

	前連結会計年度 （自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）	当連結会計年度 （自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）
１株当たり純資産額	725.00円	1,140.44円
１株当たり当期純利益	498.77円	415.45円

（注）１．2024年6月25日付で普通株式１株につき5,000株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して１株当たり純資産額、１株当たり当期純利益を算定しております。

２．潜在株式調整後１株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

３．１株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）	当連結会計年度 （自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	149,630	124,633
普通株主に帰属しない金額（千円）	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	149,630	124,633
普通株式の期中平均株式数（株）	300,000	300,000

（重要な後発事象の注記）

該当事項はありません。